

多機能型事業所socio児童発達支援事業wakaba自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	○			放デイの部屋を借用し、広いスペースを確保できるようにしている。 ・同じ法人内でつかるスペースがあれば使用し、広い場所を確保する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			1日に概ね4～6人の職員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	○			津山市「人にやさしいまちづくり条例」に適合。 視覚支援を積極的に取り入れている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○			刺激を減らすためと安全安心を確保できるように目につく所、手に触れる所に物を置かない。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			療育後のケアカンファレンス(毎日)職員会議(月一回)に加え、日常的に意見交換をし業務改善に務めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につながっているか	○			結果について職員間で協議するとともにホームページに結果を公表している。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向けの評価の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につながっているか	○			監査での指導事項等、職員間で共通認識し、改善すべき点については努力している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回の研修を開いている。 外部講師だけではなく、内部研修を開き役割の中で両方のスキルアップを図っている。 Ojtによる新人研修も行っている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			療育開始のアセスメントシートは、独自のものを作成し広範囲に渡り、細かなアセスメントをしている。加えて、開始後に定期的に来るアセスメントシートも作成していきたいと思っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援事業ガイドライン「児童発達の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			一人一人の状態に沿った支援が行えるよう、個別・集団活動を取り入れている。 定期的に計画を確認しながら支援を進めている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画を基に、全職員共通理解して支援を行っている。

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	代表で立案する時は、カンファレンスでの子供の姿や課題からヒントを得て作るようにしている。 来年度はスタッフ増員の為、チームで立てやすくなると考えている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○	年齢や時期だけで考えるのではなく、子どもの現状に基づいた活動内容を取り組んでいる。既存の活動だけでなく、オリジナルプログラムが多数ある。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○	個別担当の多くは集団担当でもある。両面の姿を計画に反映されている。
	⑰	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	次週の週案を全体に知らせ分担を伝えている。朝にも必ず申し送りを行い、それを元に担当スタッフに周知している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	決まった職員が主体的に行うのではなく、どの職員も積極的に意見が言い合える環境を大切にしている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	記録内容をみんなで共有している。カンファレンスにて振り返りを行い、気付いた点を共有しパソコンに保存している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	複数の目線でモニタリングを行うことで見直している。
適切な支援の提供	㉑	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	利用者の状態、課題を踏まえながら日々の療育に携わっている者が会議に出席している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	
	㉔	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	直接的な連絡は、先方の守秘義務の関係で難しいところが多い。保護者を通じて行っている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	会議に参加するだけでなく必要に応じて報告書の作成、提出も行っている。
	㉖	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	スムーズに移行していくため、必要に応じて連携会議や連絡に応じていく思いでいる。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけている	○	他施設の見学に行った。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		慣れにくいさ、安心、安全への配慮を第一に考えている。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		管理者が出席している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		毎回の療育後に懇談の時間を設けている。多くの方に参加してもらえるように1日数回行っている日もある。平日が難しい方には土曜相談も開いている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		ペアトレとして名を打っていないが療育後の懇談がペアトレ要素を含んでいる。
保護者への説明責任等	㉔	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時には重要事項説明書等で説明している。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		作成された児童発達支援計画を提示し、現状の課題、目標、支援内容を具体的に説明し、同意を得ている。見直し、修正をしながら同意して頂けるプランの提示、説明をしているが、就労等で詳しく伝えられない人もいる。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		懇談時、送迎時、土曜相談に行う他、保護者からの相談で随時行っている。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		集団懇談も横のつながりを重視している。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		毎月のおたよりで相談日を周知している。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、体制連絡等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		事業所だより「ほかほか」を毎月発刊。ホームページで活動内容を報告しているがさらに発信していきたい。
	㉚	個人情報に十分に注意しているか		○		マニュアルを整備し、細心の注意をしている。保護者にも同意書で確認している。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		慣れにくいさや過敏の子への配慮として開催そのものが難しい。
		㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知されているか		○	
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		○		年2回の防災訓練、不審者対応訓練を行っている。

非常時等の対応	④3	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			管理一覧を作成し、緊急時に対応できるようにしている。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	昼食が外注なので管理が難しい為、アレルギーがあれば、持参弁当を依頼している。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事故及びヒヤリハット報告書を整備し、何かあれば記入して対策について検討している。事例集はない。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	マニュアルを整備し職員と研修を通じて周知している。日々の話合いの中で気になる事は話し合っている。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			